

幼児の教育 第一〇六卷 (平成十九年) 総目録

◇第一号

年頭に期すること

浜口順子

〈特集〉保育者養成

今、保育者養成で求められていること

小川清実

未来に生きる保育者の養成を目指して

松本純子

内側から開く

杉本裕子

大学生を「保育」する

豊田一秀

幼稚園百三十年記念企画

アーカイブズ『幼児の教育』(6) 編集部

幼児画保育の要点^{だいじょうぶのていけん}

林 健造

ある日

子どもと保育の情景(1)

戸田雅美

いまなおエリクソンに学ぶ

津守 眞

お茶の水女子大学「幼・保・大」連携

保育研究の試み(1) クラス担任の経

験を研究へとつなぐ試み

菊地知子

保育の現場から 三歳児の「おおかみと七匹のこやぎ」

吉岡晶子

◇第二号

遊びと子ども

保育学習における中・高校生と幼児とのふれ合い体験

小林頼子

児童学からの出発(4) 子どもの力・親の力に支えられて その一 馬場教子

追悼「三尺の童子を拝す」と平井先生

伊藤葉子

追悼 浅見先生：その研究と思い出と

帆足暁子

幼稚園百三十年記念企画

アーカイブズ『幼児の教育』(7) 編集部

子どもと保育の情景(2)

戸田雅美

保育の変革を目指して(6)

入江礼子

ある日

お茶の水女子大学「幼・保・大」連携

保育研究の試み(2)「保育臨床実習」

の授業改革 佐治由美子・浜口順子

保育の現場から「くりかえし」楽しむ

ということ 佐々木麻美

◇第三号

巻頭言 目に見えない成果を評価すること

こと 米田俊彦

〈特集〉卒業によせて

新しい春を前にして 宮里暁美

子どもが自分らしく生きること

願って 玉木喜美子

はじめの一步 金子めぐみ

卒業式 高橋陽子

保育の傑作「お人形の家」 林 健造

子どもと保育の情景(3) 戸田雅美

児童学からの出発(4) 子どもの力・親

の力に支えられて その二 馬場教子

幼稚園百三十年記念企画

アーカイブズ『幼児の教育』(8) 編集部

お茶の水女子大学「幼・保・大」連携
保育研究の試み(3) 北須磨保育セン
ター訪問から学び得ること

佐治由美子・菊地知子

◇第四号

巻頭言 百三十一年目の春 永原惠三
若き日の志から五十年を経て 津守 眞
三歳児の協働 浅川陽子
小児病棟のプレールームで 河野優子
お茶の水女子大学「幼・保・大」連携
保育研究の試み(4) 二歳児の発達

江波諄子

若手研究者からの報告(1)

遊園地作り

と道草

齋藤久美子

保育者になったところ(1)

保育の原点

を体得する

吉村真理子

子どもと保育の情景(4)

戸田雅美

保育の現場から 遊びの中の協同と

は……

相馬靖明

観察者と保育者の対話(1)

J・H/M・I

◇第五号

巻頭言 保育の国際比較から見えてき
たこと

星 三和子

〈特集〉生活を保育へVol1

— 食べるということ —

心を育てる食卓

室田洋子

「食べることが楽しい」という思い

をはぐくむ

鳩山多加子

保育園の給食で学んだこと 水嶋敏子

手作りおやつがもたらしたもの

宮田恭子

園生活における食事の時間 柴坂寿子

中西部アフリカ・ベトナムの幼児教育

関係者との出会い

浜口順子

子どもと保育の情景(5)

戸田雅美

観察者と保育者の対話(2) Y・S/A・K

保育の現場から 「つなげたい」とい

う思い

渡邊満美

お茶の水女子大学「幼・保・大」連携

保育研究の試み(5) 大学の中で育つ

子どもたちと保育士 増田真理子

◇第六号

巻頭言 まけるもんか！ 諏訪きぬ
「子ども」と「おもちゃ」と「創造力」(1)

和久洋三

モンテッソーリの「子どもの家」百周年

記念国際会議に出席して 早田由美子

みいちゃんを送りだしたあと 田澤 薫

人肌の時間・人肌の空間・そして人

保育者になったところ(2) 保育者へのは

じまり

松岡文子・菊地知子

保育の現場から イメージを豊かに包

み込んで

小林直実

子どもと保育の情景(6)

戸田雅美

観察者と保育者の対話(3)

ある日 矢萩恭子・野溝佑希

お茶の水女子大学「幼・保・大」連携

保育研究の試み(6)「総合的保育者」

の養成にむけて 塩崎美穂

◇第七号

巻頭言「協同的に学ぶ」ということ

岩田純一

〈特集〉生活を保育へVol.2

―着替えるということ―

着替え 長田瑞恵

おむつを選ぶ 近江由伊

脱ぐ・着る・着替える 村石理恵子

子ども服再考へのいざない 岡田宣子

エリクソンの「Dr.ポルクのライフサイ

クルについての省察」から 津守 眞

ある日

子どもと保育の情景(7) 戸田雅美

観察者と保育者の対話(4)

横井絃子・前田宏子

若手研究者からの報告(2) Tちゃんの

変化の中に観察者(部外者)としての

私がいいた意味 金 允貞

お茶の水女子大学「幼・保・大」連携

保育研究の試み(7) バオバブ保育園

訪問記 塩崎美穂

◇第八号

巻頭言 散歩のすすめ

穴戸健夫

〈特集〉緑蔭図書紹介

絵本と子ども 遊々

かたつむりの動く家 皆川美恵子

「いのち」について考える 横山洋子

トリイ・ヘイデン「シーラという子」

にみる被虐待児と教育者 篁 倫子

「子ども」と「おもちゃ」と「創造力」(2)

和久洋三

子どもの居場所としての学童保育 益田美紀

海外の窓から見えた日本の幼児教育 松本信吾

保育者になったころ(3) 熱い想い

大多和檀

ある日

お茶の水女子大学「幼・保・大」

連携保育研究の試み(8) 観察するこ

ととイメージすること 植村朋弘

子どもと保育の情景(8) 戸田雅美

観察者と保育者の対話(5)

M・S / T・K

◇第九号

巻頭言 感情が耕される経験としての

遊び 加用文男

〈対談「今、倉橋を語る」の準備の中

で 津守 眞・津守房江

物語を生きる子どもたち 佐塚公代

保育における「別れ」 浜口順子

ある日 遠藤めぐみ

波の音

観察者と保育者の対話(6)

谷田部高子・清水 哲

子どもと保育の情景(9) 戸田雅美

若手研究者からの報告(3) 幼児の協

同的な表現活動における保育の援助

市川良子・福元真由美

お茶の水女子大学「幼・保・大」連携

保育研究の試み(9) 二歳児の発達

保育の現場から かえるくん 大戸美也子

佐藤寛子

◇第十号

卷頭言 子どもと自然 立川多恵子

〈特集〉生活を保育へ Vol.3

―片づけるということ―

片づける意味を考える 堀越紀香

片づけから気づくこと 田中奈津子

子どもが「お片づけ」する姿から 斉藤智美

セルフケアを意識した「お片づけ」

四宮美帆

共に生きる 佐藤キミ男

保育者になったところ(4) 最初に育てて

いただいたこと

藤野敬子

観察者と保育者の対話(7)

久保健太・下浦忠治

子どもと保育の情景(10)

戸田雅美

保育の現場から 未就園児たんぽぽク

ラスの実践

石塚麻実子

お茶の水女子大学「幼・保・大」連携

保育研究の試み(10) 『記録を読む

会』リポート 佐治由美子

◇第十一号

卷頭言 家庭科での保育教育の充実と

牧野カツコ

遊びを中心においた保育の探求

上垣内伸子・嶺村法子・矢野智司

友定啓子・岩田純一・浜口順子

五歳児への成長

津守 眞

追悼 守永英子先生を偲んで

藤崎眞知代

子どもの遊戯と教育の関係 青木美智子

発達心理学研究者の子育て奮戦記(1)

かんの虫

長田瑞恵

観察者と保育者の対話(8)

浜口順子・小島友希

子どもと保育の情景(11)

戸田雅美

「伝える」ということをめぐって

能瀬玲子

お茶の水女子大学「幼・保・大」連携

保育研究の試み(11) 「いずみナーサ

リー Message Book」制作への取り組み

刑部育子

保育の現場から 実りを味わう

上坂元絵里

◇第十二号

卷頭言 保育者の視座

岡野雅子

〈特集〉生活を保育へ Vol.4

―排泄するということ―

おむつからパンツへ

藤本みどり

排泄、その豊かな世界

井原成男

生きてるよ!

尾形節子

気持ちの大切さ

佐野尚美

デパートの中の保育室

江波諄子

子どもと保育の情景(12)

戸田雅美

保育者になったところ(5)

原点 松井とし

観察者と保育者の対話(9)

井上知香・石野直子

ある日

お茶の水女子大学「幼・保・大」連携

保育研究の試み(12) 「保育」政策の

世界的潮流

塩崎美穂

幼児の教育 第一〇六卷(平成十九年)

総目録